



城東

● 城東地区 ●
 2038 世帯
 男 1703 人
 女 1835 人
 合計 3538 人
 R8.7.1 現在

城東地区町内公民館長会 会長新任あいさつ

先日 6 月 13 日「令和 8 年度松本市町内公民館長会総会」に出席しました。松本市地域づくりセンターが設置されている 35 地区の 485 町会から町内公民館長が参加していました。

今回の総会では公民館事業報告・計画の審議で活動内容を知り、公民館講座では他地区の町会の様子を聞きました。また、新任町内公民館長研修会も開催され、公民館の歴史やあり方、地域での役割を学ぶ機会を得ました。

岡の宮文園町に祖父母が住まいを構えたのは昭和 27 年頃で、周りは桑畑が多かったようです。平成 23 年第 74 号松本市公民館報『城東版』に「私たちの町のなりたち」という掲載があり、岡の宮三町について書かれていま

す。文園町については「昭和 20 年代後半、旭町小学校東側の農地が開発され、文教地区として宅地分譲された。」とありました。

年を重ねたことと町会の役員を受けたことで、自分の住む地域を知りたいという気持ちが湧き、旭町小学校正門横に設置されている「城東地区史跡マップ」も興味深く拝見しました。このマップは、城東地区歴史的文化財等掘り起こし及び伝承事業として平成 26 年に作成されたとのこと。当時の作成委員会の方々のご尽力に感謝し、散歩の目的に地域探求の史跡巡りも加えて、楽しみに計画しています。

今年度の城東地区町内公民館長会では、これまでの公民館の歴史を踏まえ、有

意義な会議運営や文化祭のあり方など模索してまいります。
 実家に暮らして 4 年目であり町会役員も初めてで経験不足ではありますが、皆様からご意見・ご指導を賜りながら役割を果たしたいと考えますので、どうぞよろしく願います。

岡の宮文園町 百瀬万里



▲「岡の宮三町」周辺地図

出張ふれあい健康教室にて

令和 8 年 6 月 12 日、和泉町 2 丁目では、普段公民館まで足を運びにくい方のため「出張ふれあい健康教室」が開催されました。

町会のみなさんが安心して暮らせるよう日々の生活に役立つ知識を伝える為に、地域の中で無理なく参加できる場をつくらうという思いから企画されたものです。

この日は北上横田町公民館において 8 名の会員が参

加し、ゆったりとした時間を過ごしました。
 福祉ひろばのコーディネーターさんの指導のもと、ストレッチや初めて挑戦するモルックなど、身体と頭を動かしながら、会場には穏やかな笑い声が広がりました。皆さんが楽しんでる様子がお茶会もあり、杜協生活支援員の方からは今後予定されている地域イベントの案内もいただきました。

参加者からは「手ぬぐいストレッチは家でも続けてみたい」「初めてのモルックが楽しかった。熱中症の防止や健康維持について改めて考えるきっかけになった」など声が寄せられ、心身ともに小さな変化が感じられるひとときとなりました。

高齢化が進む中、町会行事が簡素化され、住民同士が顔を合わせる機会は減りつつあります。

だからこそ、このような「気軽に参加できる場」が地域のつながりを育む大切な





▲モルルク



▲健康相談



▲ストレッチ

きつかけになるのだと感じました。高齢者だけではなく、若い世代にもそっと寄り添える居場所が、身近にひとつ、ふたつ増えていくといいなと思える時間でした。
和泉町2丁目 中村敬子

岡の宮西町会の防災への取り組みと備え



去る4月18日午後、長野県で発生した最大震度5弱、松本市では震度3の揺れが観測された地震で、多くの方が突然の揺れに驚きと不安を感じたことと思います。また、6月の初めには台風6号の接近があり、日頃からの備えの大切さや、地域全体で支え合う防災の重要性を、改めて感じました。

日本列島では、100年から150年周期で南海トラフ地震が発生しており、前回から既に約80年が経過しています。いつ大規模地震が起きてもおかしくない状況にあり、一人ひとりの備えを進めていくことも大切だと思っています。

◆町内巡回での気づき◆

こうした背景から岡の宮西町会では、町内会長・防災部長と一緒に、「岡の宮西町会防災マップ」を元に町内の現状につき点検を行いました。

その中で、倒れる恐れのある塀や大木、足元に注意が必要な側溝など、気をつけたい場所や一次集会所

の表示がされていないことなど幾つかの課題に気づき改善の必要性を感じました。また、災害時に通信規制の対象外となり停電時でも使える公衆電話が大安楽寺様の入口付近に設置されており、いざという時の連絡手段として場所を確認しておくことも大事だと思いました。

◆取り組みと助け合い◆

災害の時には、まずご自身の安全を守ることが大切ですが、それと同時に、ご近所同士で声を掛け合い、助け合うことも大切です。5月29日からは、新たな防災気象情報の運用が開始され、警戒レベルに応じた行動をとることは命を守るうえで重要です。一人住まい・高齢者・幼児のいる世帯へは避難の際の支え合いが必要となります。小さな町会なので日頃から顔の見える関係を大切に、「お互いさま」の気持ちで繋がっていることが、いざという時の安心に繋がります。

町内の皆さんが安心して



避難できる環境づくりを第一に考え、今回確認された課題について町内会長・防災部長を中心に町会の皆様の協力、行政との連携をしながら丁寧に対応をしていきたいと思っています。

今後巡回や防災マップの見直しを続け、地域での支え合い、安全で安心な町づくりを進めていきます。引き続き、皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

岡の宮西 藤森佳明



▲側溝



▲倒れる恐れのある大木とコンクリート塀の確認



▲公衆電話